

公益社団法人 沼津市シルバー人材センター

平成31年度事業計画

自 平成31年4月 1日

至 平成32年3月31日

平成30年度、当センターは、高齢者のワンストップサービスの拠点として就業を促進し、社会参加と生きがいの充実を図るため、堅実な事業運営を続けてきた。

また、国・県・市や関係機関などの支援のもと、運営基盤の強化を図り、広く市民にシルバー人材センターの公益的意義を周知することにつとめた。

今日、我が国は、長期の人口減少過程に入っているが、高齢者人口の割合は、ますます増加すると推計されている。このため国は「ニッポン一億総活躍社会プラン」を策定、元気で就労意欲にあふれ、豊かな経験と知恵を有している高齢者の就業支援を積極的に行うとしており、その受け皿となるシルバー人材センターの役割は、一層大きなものとなっている。

一方、我が国の景気の先行きについては、国内外の政治経済情勢が不安定なことから不透明感が強くなってきている。このような背景の中で、当センターの新年度事業は、運営基盤の安定を図る中で、会員の福祉向上並びに地域社会の発展に寄与するよう計画する。

近年、会員数が減少傾向にあるため、積極的に会員増強につとめるが、そのためにはこれまで以上に魅力あるセンターとしていく必要がある。

親睦旅行、シルバーまつり、清掃奉仕活動等、会員活動をより充実させ、さらには、会員の自主的活動の基となる地域組織活動の活発化を図る。

また、「一人一会員入会運動」を展開するほか、加齢により就業機会が減少した会員については、会費軽減化を図るため、所謂「ゴールド会員制度」の導入に向けた検討を行う。

このほか、高齢化社会の中でニーズの高まる介護予防・日常生活支援総合事業の参入に向けた調査・研究を行う。

シルバー就業の基本である安全就業について、30年度は前年比で事故件数が増加しているが、引き続き原因分析を行い、無事故就業を目指す。

就業の適正化については、引き続き、法令で規定されている請負、委任、派遣の働き方について、実態に即した適正化を図る。

会員の自主活動としての未耕作地を活用した菜園事業については、引き続き行い、積極的なPRを行う。

また、伝承技能である沼津垣の製作後継者は育ちつつあるが、これを確かなものとするため技能講習などを通し、さらに確保につとめる。このほか、植木剪定の後継者不足が懸念されるため、その対策を検討する。

市の施設である高齢者就業センターについては、引き続き、指定管理者としての業務を行う。

今日のシルバー人材センター制度には様々な課題があるが、これらへの対応は、沼津市をはじめ関係機関の指導、支援を頂く中で、役職員をはじめ会員が一丸となって取り組んでいくものとする。

事業実施計画

1 普及啓発活動

シルバー人材センターを広く市民に周知し、センターのイメージを高めるため、報道機関、公共団体等への情報提供につとめ、マスコミや行政広報などの媒体を通して、随時、啓発活動を実施する。

また、ホームページによる情報発信、さらにはリーフレット等の配布による効果的なPR活動を行い、公益社団法人としてのシルバー人材センター事業が広く市民や事業者等に理解されるようつとめる。

2 会員の増強と研修

センター組織の基盤である会員は全国的に減少傾向が顕在化しており、会員増強は喫緊の課題である。そのため（公社）全国シルバー人材センター事業協会では「第2次会員100万人達成計画」を策定し、全国展開を図っている。当センターとしても目標達成に向け全力を傾注する。

そのため、募集チラシや会員の口コミにより、会員増強を図るほか、「一人一会員入会運動」を実施する。また、より長く会員活動を行えるよう、高齢会員の会費軽減を図る、所謂「ゴールド会員制度」の導入に向けた検討を行う。

研修は、会員の資質の向上及び技能取得・向上などを行うため、日常的、組織的に行うとともに、より効果を上げるため研修月間を設ける。

3 会員組織活動の活性化

地域組織活動及び職群組織活動を活発化し、会員の共働・共助による就業の円

滑化を図る。また、「ぬまづシルバーまつり」を開催し、近隣住民も巻き込む中で会員相互の連携と交流を深める。このほか、親睦旅行、同好会等は会員の自主的な運営のもとで実施する。

4 安全就業の推進

安全就業推進基本計画に基づき、講習会の開催、巡回指導及び安全向上の標語募集などを実施し、事故防止につとめ、安全就業の徹底を図る。

5 就業機会の拡大と公平・適正化の推進

就業機会の拡大は、就業先訪問を活発化させるなど、就業開拓活動の充実につとめる。

就業の公平・適正化を図るため、公平については、引き続き公平適正就業推進規程により、公平な就業機会の提供を図る。また、適正化については、引き続き、法令で規定されている請負、委任、派遣の働き方について、実態に即した適正化を図る。

このほか、会員の就業相談等に対応できるよう事務局体制の充実を図る。

6 調査研究活動

会員の仲間づくりを推進するため、未耕作地を活用した菜園事業のなお一層の充実を図る。また、空き家の適正管理の研究を行うなど、新規事業に関する調査を行う。

このほか、伝承技能である沼津垣製作の後継者育成を図る。また、植木剪定の後継者育成を調査・検討する中で、講習会をより充実させるとともに職群班活動の活発化を図る。

7 福祉・家事援助サービス

従来のサービスに加えて、高齢者の安否確認やゴミ出しなど、福祉・家事援助サービス事業の範囲拡大を図るとともに、介護予防・日常生活支援総合事業の参入に向けた調査・研究を行う。

これらを担う女性会員が不足しているため、女性会員の確保につとめるとともに専門的知識を高める講習を実施し、確実な事業展開を図る。

8 ボランティア活動の推進

地域社会貢献活動の一環として、各種の公共的イベントへの参加、自然観察会の開催、公共施設での奉仕活動及び花壇整備などのボランティア活動の推進を図る。

9 シルバー派遣事業

会員の知識・経験を活かすとともに、多様な働き方を希望する会員の就業の機会の拡大を図るため、シルバー派遣事業をさらに進める。

10 沼津市高齢者就業センター指定管理業務

引き続き沼津市の指定管理業務を行い、高齢者の就業に必要な情報の収集と提供、技能等の講習を実施し、高齢者の社会参加を促す取り組みを行う。

11 職業紹介事業

(公社)静岡県シルバー人材センター連合会の活動拠点として行う臨時的かつ短期的雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものに限る。）を希望する高齢者のための職業紹介業務を行う。